

平成28年(2016年)9月6日

平成28年度金沢市議会9月定例会月議会 市長提案説明

本日、ここに各位のご参集をいただき、平成28年度金沢市議会9月定例会月議会が開かれますに当たり、市政の概況と提出議案の大要につきまして、ご説明を申し上げます。

【市政の概況】

さて、世界は今、激動の中にあります。英国でのEU離脱の選択や米国の大統領選挙を巡る議論、中東をはじめ、南シナ海、東シナ海、朝鮮半島等での緊張の高まり、世界各地におけるテロの多発など、反グローバル化やナショナリズムとも云われる動きが顕在化し、不安定化の動きが広がりつつあります。

そうした中で、先月、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピックが開催されました。松本薫選手や小堀勇氣選手をはじめとする日本選手団の活躍に心から祝意と敬意を表しますとともに、国籍や価値観が異なる選手達が見せた相手への思いやりと、互いを尊重し合う姿勢は、世界中の人々に、幾多の感動とともに大きな希望を与えたものと信じます。

私は、これからの金沢のまちづくりのキーワードは「本物」と「広域」である、とかねがね申し上げてまいりました。「広域」とは、日本国内だけではなく、広く海外の都市との交流と連携とを意識したものでもあります。こうした時代だからこそグローバル化の負の側面のみを目を向けることなく、人々が互いに連携し、英知を結集しあうことが重要であり、五輪旗のように、国際社会が未来に向かって固い絆で結ばれることを心から願う次第でございます。

同時に、わが国の状況も、そうした世界の潮流と無縁ではなく、幾多の難問が山積しております。甚大な被害をもたらした熊本地震などの自然災害に加え、人々を震撼させた障害者支援施設での凄惨な事件の発生等により社会不安が広がるとともに、曙光が見えはじめた日本経済も、英国のEU離脱の選択に対する懸念から、先行きに不透明感が増しております。

そうした中で、政府は、21世紀型のインフラ整備をはじめ、中小の事業者や地方への支援、防災対応の強化等を柱とする28兆円規模の新たな経済対策を取りまとめ、一億総活躍社会の実現を強力にめざすこととしております。

市といたしましても、今後の国の補正予算の動向を十分注視し、これに積極的に呼応してまいりますとともに、今回の補正予算において企業立地や新製品の開発等に対する助成枠を追加いたしますほか、都心軸沿線へのファッション関連店舗の出店等に支援するなど、地域経済の活性化に向けて、なし得る限りの手立てを講じることとした次第であります。

また、観光面では、増加する外国人旅行者の受入体制を強化するため、本市独自の通訳案内士の養成に併せ、インターネット上での通訳ガイド人材バンクの開設や、外国人の嗜好に合わせた文化体験プログラムの開発等に新たに取り組むことといたしました。

加えて、この秋、国内の創造都市と連携して、フランス・パリで開催を予定している国際プロモーションや、イタリア・ミラノにおける旅行会社等を対象とした金沢学講座の開催等を通じ、金沢のほんものの文化を世界に広く発信してまいりたいと存じます。

さらに、北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会の4市1村と連携し、今月22日から東京で開催される世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン」に金沢ブースを出展するとともに、来月には、旧前田家本邸のある目黒区との間で、友好交流都市協定の締結に向けた覚書を交わす運びとなっており、観光プロモーションの連携・強化にもつなげてまいります。

さて、北陸新幹線の開業から1年半が経ちますが、国の内外から多くの方が金沢を訪れており、これまで以上にまちが活気づいております。この機を逸することなく、歴史・文化と云う金沢の個性を生かしながら、魅力と活力あふれるまちづくりを加速させなければなりません。

先般、本町1丁目地内の西外惣構「升形」の復元に向けた基本計画がまとまりましたので、年度内を目途に、土居の整備や石垣の復元にかかる実施設計を進めてまいりますほか、昨年、国史跡に指定された「加越国境城跡群及び道」について、先日、学識者等による保存整備検討委員会を立ち上げた次第であり、年度末を目途に、保存活用計画を取りまとめ

ることとしております。

また、来月9日にリニューアルオープンする金沢くらしの博物館では、民俗文化の継承と発信をめざし、新たに昔の暮らしを体験・学習できるコーナーを設けるなど、展示機能の充実を図ることとしておりますほか、11月に開館予定の金澤町家情報館では、金澤町家の保全活用に向けた相談窓口を開設するなど、町家の更なる活用と魅力の発信に努めてまいりたいと存じます。

加えて、来月には、市中心部において加賀友禅や金沢箔などに携わる伝統工芸士等の技術披露や、若手工芸家の作品展示を行う「KOGEIフェスタ」を開催いたしますほか、市民芸術村が開村20周年を迎えますことから、ドラマ、ミュージック、アートの各工房で多彩な記念イベントを開催するなど、市民の芸術・文化活動の拠点としての情報発信に努めることにより、更なる利用の促進を図ってまいりたいと存じます。

さらに、先般、2018年の東アジア文化都市事業の国内候補都市に本市が選定されましたので、今後、日中韓が連携して行う東アジア文化都市サミットや国際工芸サミット（仮称）への参加等を通じ、東アジア地域の文化芸術の交流・発信拠点としての本市の存在感をより高めていきたいと考えております。

また、先月、ユネスコ創造都市であるフランス・アンギャンレパン市からのアーティストの受入れに続き、11月からは、本市若手陶芸家を中国・景德镇市に派遣することとしており、今後とも、世界の創造都市との間の人材交流に積極的に取り組んでまいります。

一方、開学70周年を迎える金沢美術工芸大学では、海外との美術交流の促進に向けて、この程、大学内にアジア美術戦略会議を設置した次第であり、過般、訪問した中国、韓国の芸術系大学との職員の相互派遣について検討を進めているところであります。

併せて、大学の移転整備につきましては、移転先となる金沢大学工学部跡地の取得等について、これまで県と協議を重ねてまいりましたが、先般、県のご協力を得て、本市が山側4.7haを、県が兼六園側3.4haを取得することで合意が得られました。これを踏まえ、図書館等の整備をめざす県と連携を深めながら検討懇話会での議論を加速させ、年度末を目途に移転整備に向けた基本構想を策定してまいりたいと存じます。

また、東京国立近代美術館工芸館の移転についてであります。先般、移転場所や開館時期などの基本的な考え方が国から示されたのを受けて、この程、施設整備等に対する負担割合について県との間で合意に至りました。この上は、移転施設の内容や管理運営体制、施設の名称等について、県と連携を密にしながら、詳細を詰めてまいりたいと存じます。

一方、スポーツ文化の振興についてであります。城北市民運動公園の金沢プールが、先月末に竣工し、日本水泳連盟の主要競技場としての公認も得られたところであります。過般、本市が東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、国の認定を受けましたので、来月予定している訪欧の際に、私自らフランスの各スポーツ連盟を訪問したいと考えており、事前キャンプの誘致に向けた約束を交わすことができたかと期待しております。

また、来月23日に開催する金沢マラソンでは、国内外から13,000人のランナーが参加することとなっておりますので、沿道応援の充実や、救急・救護体制の整備など、大会の成功に向けて準備に万全を期してまいりたいと存じます。

さて、まちのブランド力やステータスを高めるためには、都市インフラの一層の整備が欠かせません。

金沢駅西広場隣接地への国際ブランドホテルの誘致につきましては、過般実施した公募プロポーザルにおいて、国際的知名度の高い外資系ホテルの「ハイアットセントリック」を提案した事業者を優先交渉権者に決定したところであります。今後、駅西広場周辺の交通対策や歩行空間の確保等について検討を進めるとともに、今回、土壤汚染が確認されたことから、それらへの対応も含め、事業者との間で市有地の売払いに関する基本合意書を先月末に交わしたところであり、引き続き、連携を密にしながら開業時期に支障を来さすことのないよう努めてまいります。

併せて、都心軸沿線の再整備にありましても、金沢駅武蔵南地区や片町・香林坊間における民間を主体とした再開発事業等に積極的に支援してまいりたいと存じます。

一方、新しい交通システムの導入についてであります。現在、有識者等による検討委員会で導入機種やルートを選定等にかかる検討を進めているところであり、11月に開催

を予定している市民フォーラムや、市民アンケート調査の意見等も踏まえながら、年度末を目途に提言を取りまとめてまいりたいと存じます。

さらに、外環状道路海側幹線の整備につきましては、4期区間の大浦町地内における金腐川右岸の橋梁下部工事に着手するための請負契約議案を今回お諮りしておりますほか、金沢駅以西の新幹線側道では、来月末に安原跨道橋の改良工事を終え、全線の整備が完了することとなっております。

また、金沢港についてであります。現在の3倍以上となる32本の日本海定期周遊クルーズ船の発着が明年予定されておりますことから、今後、県と連携し、三大都市圏等におけるクルーズPRイベントを実施するなど、更なる誘客に努めますとともに、無量寺岸壁の早期整備を国に求めてまいりたいと存じます。

次に、定住の促進についてであります。新たに創設した郊外部における移住者向けの住宅建築奨励金制度に見込みを上回る多くの申し込みがありましたので、首都圏での移住フェアの開催や移住プロモーション動画の制作などを通じて、制度の一層の周知を図ってまいりますとともに、増加する空き家への対応につきましても、新たに設けた支援制度の活用を図り、適切な管理や活用を促すなど、安全・安心な住環境の創出に努めてまいります。

ところで、まちの持続的な発展のためには、住みやすく、誇りと愛着のもてるまちを築くことが大切であり、福祉・教育・環境など、まちの総合力を高めていくことが肝要であります。

まずは、子供への施策であります。私立保育所等におけるICT化を推進するとともに、県と協調して、年内にも、低所得者世帯を対象とする第2子保育料を無料化することとしております。

また、子ども・子育て支援新制度への移行や、先に述べた一億総活躍プランの中に保育の受け皿の拡大が盛り込まれたことを受けて、今回、年度途中で入所が困難な0歳と1歳児の受入体制の強化を図ることとしておりますほか、新たに保育士の処遇改善に対する支援制度を創設し、保育従事者の負担軽減に資してまいりたいと存じます。

また、高齢者への施策では、介護従事者の負担を軽減するため、見守り支援機器の導入等を支援してまいりますほか、明年4月から始まる介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施に万全を期してまいります。

さらに、障害のある方への施策であります。神奈川県で発生した障害者支援施設での痛ましい事件に対し、心から悲しみと憤りを覚えますとともに、亡くなられた方々に衷心よりご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。市といたしましても、早速、福祉施設管理者を対象とした緊急通報体制の整備にかかる研修を実施し、安全管理の強化に努めるとともに、行政と民間からなるネットワーク「障害者差別解消支援地域協議会」の本年度中の設置をめざしておりますほか、来月3日には、障害者基幹相談支援センターを開設し、権利擁護や虐待防止に向けた取り組みを強化することといたしました。

一方、市民の健康づくりについてであります。小児科等の夜間急病診療所の移転整備に向けて、先般、周辺市町の医療関係者や住民の方々から成る懇話会から、整備基本方針にかかる提言を頂きましたので、今後の施設の詳細設計に反映してまいりたいと存じます。

次いで、教育についてであります。かねて検討を進めております学校の規模適正化の方向性について、昨日、通学区域審議会から教育委員会に対して答申がありましたので、その内容を十分に斟酌しながら、今後、関係する地域や保護者への説明、協議を進めてまいりたいと考えております。

また、環境についてであります。先般、国連機関から、世界の平均気温が観測史上最高を記録するなど、地球温暖化が予想以上のペースで進んでいるとの報告がありました。本市もこの例外ではなく、先月には、最高気温が30度を超える真夏日が、平年の1.3倍にあたる27日を数えております。

加えて、近年、多発している集中豪雨等による自然災害も温暖化と無関係ではないことから、「パリ協定」の遵守に向けて、国では温室効果ガス削減戦略の策定に着手しているところであり、市といたしましても、企業等のエネルギー使用効率化設備の導入に対する支援や、地中熱等の新たな再生可能エネルギーの研究などを通じ、低炭素都市づくり行動計画の推進に鋭意努めているところであります。

同時に、温暖化防止の有効な手段の一つである家庭ごみの有料化制度につきましては、先月までに市内62校下ごとの説明会を全て終了いたしましたので、引き続き、個別の町会を対象とした説明会を行い、市民の皆様の理解が更に深まるよう、なし得る限りの努力をしてまいります。

ところで、女性活躍社会の実現についてであります。現在、男女共同参画推進行動計画の改定作業を進めておりますほか、日本女性会議の平成30年秋の金沢開催に向けて、先般、実行委員会を立ち上げたところであり、今後、男女共同参画社会の実現に向けた具体的なテーマの決定や、大会の運営方法等について検討を進めるなど、開催準備に遺漏のないよう取り組んでまいりたいと存じます。

また、南分室の老朽化に伴う第二庁舎の整備につきましては、先月末に開催された第二庁舎建設特別委員会において、本庁舎と第二庁舎を結ぶ上空通路を設置することで了承が得られました。その後にかかれた景観審議会の建物部会においても、その方向性について基本的な了解を得ることができましたので、今後、それらを踏まえて、詳細な実施設計を進めてまいりたいと存じます。

市政は今、重要な局面に差ししかかっております。新幹線時代にふさわしい世界の交流拠点都市・金沢の実現に向けて、重点戦略計画の着実な推進に、私をはじめ職員一丸となり、全力で取り組んでまいり所存であります。各位並びに市民の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

【提出議案の説明】

さて、今回提出した補正予算案は、地域経済の活性化に資する経費や、市民生活の安全・安心の確保に関する経費のほか、緊急所要の経費の追加が主なる内容であり、全会計の補正額は19億9,786万7千円となりました。

先ず、経済関係では、先に述べた経済活性化策のほか、国際見本市への出展や、地域における生鮮食料品店のリニューアル工事に対する助成枠を追加するとともに、農林関係では、河北潟周辺地区の浸水対策や、クマ・イノシシの被害防止策などの経費を追加しております。

また、文化関係では、重要伝統的建造物群保存地区における建造物の修理・修景に対する助成枠を追加したほか、スポーツ関係では、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致に向けた取り組みに必要な経費を追加いたしました。

さらに、都市整備関係では、定住の促進に向けて、まちなか住宅建築奨励金などを追加したほか、屋外広告物の撤去に対する助成枠を追加することとしております。

一方、福祉関係では、障害者福祉施設や私立保育所及び児童クラブ等の施設整備を支援してまいりますとともに、先に述べた保育所における受入体制の強化や保育士の処遇改善にかかる経費を追加しておりますほか、保健関係では、来月1日から実施するB型肝炎ワクチンの定期接種費を追加いたしました。

このほか、公衆街路灯のLED化や、自主防災組織の防災資機材等の整備などに対する助成枠を追加するとともに、中期財政計画に基づく市債の繰上償還費5億円を計上しております。

予算以外の議案では、「児童福祉法に基づく児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例」の一部改正など条例案3件のほか、大浦千木町線の金腐川橋梁新設工事にかかる請負契約の締結など6件をお諮りし、報告案件として、公立大学法人金沢美術工芸大学の業務実績に関する評価結果など26件を報告しております。

以上が議案等の大要でございます。何とぞ慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。